

コミュニケーション能力は「信頼関係を築く力」

コミュニケーション能力をテーマにした講演が、多可高校（多可町中区東山）であった。元多可町長の戸田善規さん（73）が「人と人がつながる時代（これからが、これまでもをつくる）」と題して話し、コミュニケーション能力は「話す技術ではなく、人との信頼関係を築く力」と訴えた。同校は地域連携活性化事業

元多可町長・戸田さん



講演する元多可町長の戸田善規さん＝多可高校

多可高校で講演 生徒99人に語りかけ

として、地域を代表する人になる」「感謝できる」「約束を講演を依頼。戸田さんは13年生99人を前に、体育館で語りかけた。国会議員の公設秘書や旧加美町議などを経て2000年、旧加美町長に就任。05年からは、旧中、加美、八千代の3町合併でできた多可町の町長を3期12年務めた。現在は総合型まちづくり機構「たかめつせ」の代表を務める。

講演で戸田さんは、生きる力の中核にコミュニケーション能力があり、「人との信頼関係によって、今日まで歩んでこられた」と振り返った。町長として何千人もの人を見てきた経験から、本当に伸びる人は頭のいい人ではなく、「人の話を最後まで聞けた。また、「人と関わり、人から認められる」という経験の繰り返しで自信がつくと強調し、「こんにちはこのようにあいさつと、ありがとうという感謝、地域の祭りなど社会参加が自分を大きく成長させる」などと呼びかけた。

生徒会書記で2年生の松岡磨央さん（16）は「途中であきらめず、最後までやりきるという言葉が心に響きました。今よりも一層信頼される人になれるように、あいさつなどに力を入れたい」と話していた。（金井恒幸）

く、「人の話を最後まで聞けた。また、「人と関わり、人から認められる」という経験の繰り返しで自信がつくと強調し、「こんにちはこのようにあいさつと、ありがとうという感謝、地域の祭りなど社会参加が自分を大きく成長させる」などと呼びかけた。